

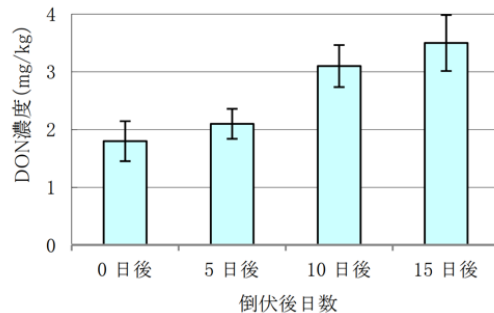
# 令和8年産みえの麦生産改善技術情報 第5報

赤かび病多発・DON 基準超過リスク高まっています！  
仕分け管理・適期収穫・速やかな乾燥・選別の徹底を！

～かび毒(DON)濃度が 1.0mg/kg を超えると食品として流通することができません～

## 1 収穫前圃場での赤かび病発生状況の確認、仕分け管理を！

- ☑ 収穫前に圃場で赤かび病の発生状況を確認し、赤かび病の被害粒が健全な麦に混入しないように、必ず『仕分け収穫』および『仕分け乾燥調製』を行って下さい。
- ☑ 特に、倒伏している圃場はかび毒が高濃度化しやすいため、必ず仕分け管理を行ってください。



人為的に倒伏させた試験区における小麦収穫時のDON濃度  
(農研機構九州沖縄農業研究センターの試験事例から)

## 2 適期収穫を！

平年に比べ5日程度早い見込

- ☞刈遅れにより麦が雨に当たると、かび毒が産生されやすくなります。
- ☑ 排水溝の点検・修復、機械整備を早めに行い晴れ間を逃さないよう収穫して下さい。
- ☑ 穀粒水分が28%以下になったら速やかに収穫を開始して下さい。
- ☑ ただし、収穫適期に降雨が予想され、収穫遅れが見込まれる場合は、高水分収穫を検討して下さい。
- ☑ 高水分収穫は、穀粒水分35%以下を目安とし、「コンバインの扱胴回転数を低下させる」「稲用に変速させる」などにより、選別不良や損傷粒の発生を防ぎましょう。

## 3 収穫後の速やかな乾燥を！ 放置厳禁！

- ☑ 収穫後、適切な水分まで乾燥する間にもかび毒は増殖します。  
収穫後は速やかに乾燥し、水分を低下させて下さい。収穫後の放置は厳禁です！
- ☑ また、品質を損なわないために、乾燥時の熱風温度は50℃程度とし、毎時の水分低下率を2%程度として下さい。

## 4 粒厚・比重選別の併用を！

- ☑ 赤かび病被害粒は健全粒と比べて粒厚が薄く、比重が小さい傾向にあるため、可能な限り粒厚・比重選別を併用して下さい。
- ☑ 選別時は流量を少なくし、徹底した選別を実施して下さい。



令和8年 5月 19日  
三重県産麦生産改善技術対策会議

※生産履歴管理記録は、収穫前に集荷事業者（JA）に必ず提出して下さい。